



▲鹿屋体育大学の国際スポーツ・アカデミー市民交流会で通訳

7代目 鹿屋市 国際交流員が着任!

鹿屋市は、国の制度であるJETプログラム(地方公共団体が外国青年を招致する事業)のもと、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流の進展を図ることを目的として、国際交流員(CIR)を招致しています。

今回、アメリカ合衆国アリゾナ州から、デトマソ・スティーブンさん(23歳)が、新しく7代目国際交流員として着任しました。

問 市地域活力推進課(3階) ☎31-1147



▲国際交流協会のイベントでの子どもたちとの触れ合い



新国際交流員
デトマソ・スティーブンさん

「時」 代劇の影響で、高校生
の時に日本語の勉強
を始めました。2011年に交
換留学生として、広島修道大学
で1年間、日本語や日本文化・
国際経済を勉強しました。
趣味は、映画・食べ歩き・演歌・
旅行・スポーツです。
鹿屋市に引っ越して来て2か
月以上経ちましたが、町の人々
がすごくフレンドリーで、また
食べ物も美味しいので、すぐに
新しい生活に慣れ、鹿屋を本当
に気に入りました。
これから学校等で、子どもた
ちにアメリカの文化を紹介でき
ることや、国際交流イベントを
行うことが楽しみです。また、
海外に鹿屋の情報を発信してい
きたいと思っていますので、い
ろいろなことを教えてもらいた
いです。
これからよろしくお願いま
す。」

鹿屋は「第2のふるさと」

豊かな自然とおいしい食べ物にも恵まれている鹿屋を「第2のふるさと」と呼ぶことができ、誇りに思います。鹿屋の皆さんへ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
Go raibh míle maith agat! (※)
※は、アイルランド語で
「ありがとう」の意味です。



▲「クリスマスお菓子の家づくり」では、サンタクロースにふんし、会場をわかせた。(平成25年12月)

ありがとう デイヴィッド!

6代目の国際交流員の
デイヴィッド・ジョーンズさん
(25歳)が3年間の任期を終え、
アイルランドに帰国しました。



前国際交流員
デイヴィッド・ジョーンズさん

「主」に教育施設や生涯学習団体の講
座、市民の皆さんへの語学指導
鹿屋市国際交流協会での国際交流イベント
などを行いました。

出前講座は、母国アイルランドのことを紹介するなど、子どもたちと触れ合うことができ、とても面白かったです。子どもの好奇心を強く感じて、印象に残ったことの一つです。

国際交流協会スタッフの皆さんと協力して創った『クリスマススマーケット』も印象に残っています。雑貨の屋台や『お菓子の家づくり』ワークショップを通して、鹿屋の皆さんに本格的なクリスマススの雰囲気味わってもらえることができ、最高の思い出になりました。